



新教材を積極的に採録し、充実したラインナップ
各単元に同じテーマの文章が複数配列されているため、読み比べにも最適

1 論理国語への
いざない



論理力と思考力……………野矢茂樹
納得の構造……………渡辺雅子
情報の「メタ」化……………外山滋比古
◆学びを広げる ビラミッドストラクチャーを活用する
参考 論理構成のためのフレームワーク……………編集委員会

2 情報社会を
生きる！



ネット上の発言の劣化について……………内田樹
忘れられる権利……………宮下紘
流言とメディア……………佐藤卓己
◆学びを広げる メディアとのつきあい方を考える
参考 大規模言語モデルは新たな知能か……………岡野原大輔

3 芸術を味わう



想像する芸術……………齋藤重矢
空白の意味……………原研哉
◆日本の文化を背負う、狂言を背負う、劇場を背負う
——「敦」山月記「名人伝」……………野村萬斎
◆学びを広げる 芸術作品の鑑賞文を書く
参考 ミロのヴェイナス……………清岡卓行

4 環境問題を
考える



世代間倫理としての環境倫理学……………加藤尚武
環境容量の中で生きる——「現代」とはどういう時代か……………見田宗介
人類による環境への影響……………鷺合いづみ
◆学びを広げる 人間と環境との関わりについて考える
参考 「人新世」に生きる……………元村有希子

5 言葉を
見つめる！



言葉がつくる女と男……………中村桃子
いつもの言葉を哲学する……………古田徹也
夢は何語で見る？……………多和田葉子
◆学びを広げる 「カタカナ語」の使用について考える
参考 カタカナ語は享受すべきか……………川口良・角田史幸

6 科学技術
問い直す



「なぜ」に答えられない科学……………池内了
AI時代の「人間」……………堀内進之介
AIの時代と法……………小塚荘一郎
◆学びを広げる 科学技術と人間との関わりについて考える
参考 人間を「機械」にする畏……………伊藤亜紗

7 心と向き合う



恐怖とは何か……………岸田秀
生命との関わり——精神科医として……………木村敏
「遅れ」という問題——「ころ」をめぐる……………柄谷行人
◆学びを広げる 「人の心」について考える
参考 ネガティブ・ケイバビリティ——答えの出ない事態に耐える力……………帚木蓬生

8 市民社会を
支える



「市民」のイメージ……………日野啓三
「である」ことと「すること」……………丸山真男
「自治」の力を耕す、〈コモン〉の現場……………斎藤幸平
◆学びを広げる 選挙権を行使することの意義を考える
参考 国政選挙における年代別投票率について……………総務省

◆忘れられる権利
一度インターネットに出た情報は半永久的に残されたままとなる。インターネットの世界において「忘れる」ことの必要性を述べた評論。

◆想像する芸術
「世界がいつもと違って見えるようになる」アートの効力や醍醐味について論じた新しい芸術論。



ワシリー・カンディンスキー「黄・赤・青」(1925年)

◆日本の文化を背負う、狂言を背負う、劇場を背負う
狂言師である筆者が、表現者としての自己欲求と伝統を継承する使命感について語る。QRコードから小説『山月記』を参照できるので、小説と関連づけた学習が可能。

◆環境容量の中で生きる
ある種が急速に繁栄し、やがて安定平衡期に入るといいう生物の基本原則である「ロジスティック曲線」をもとに人間のあるべき姿を論じる。

◆いつもの言葉を哲学する
「母語」や「母国」といった言葉そのものがもつジェンダーバイアスや、それぞれの言語が息づく文化の側面について論じた言語論。

◆AIの時代と法
AIが急速に進化・普及する中で、法が技術に追いついていない問題について、「トロツク問題」を例にして説いた「新しい時代の法律」。

◆「遅れ」という問題
夏目漱石『ころ』の作品分析を通して、人間の心の「遅れ」、他者との関係について論じた文学評論。QRコードから小説『ころ』を参照できるので、小説と関連づけた学習が可能。

◆「自治」の力を耕す、〈コモン〉の現場
資本主義の「包摂」によって生産の手段や能力を失った現代が、かつての力を取り戻す方法を考える。入試頻出著者による社会論。



大学入試に頻出の著者の文章を厳選
評論教材は48本、実用的文章・参考教材は16本を掲載

1 情報社会を
生きるⅡ



ぬくみ…………… 鷺田清一
擬似群衆の時代…………… 港千尋
ビッグデータと「私」の問題…………… 東浩紀
学びを広げる 情報社会が抱える課題について考える
参考 遅いインターネット…………… 宇野常寛

2 言葉を
見つめるⅡ



記号を使う動物…………… 池上嘉彦
言葉への挑戦…………… 長尾真
赤ちゃんはAIより天才だ…………… 今井むつみ
学びを広げる 言葉のもつ力について考える
参考 懐疑をいかに乗り越えるか…………… 橋爪大三郎

3 共生社会を
創る



母親のための酸素マスク…………… 宮地尚子
利他とは何か…………… 近内悠太
講演 持続可能な福祉社会への道…………… 広井良典
学びを広げる 共生社会の実現について考える
参考 社会的包摂と震災…………… 阿部彩

4 経済から
世界を捉える



貨幣共同体…………… 岩井克人
落語の中の経済学…………… 大竹文雄
「欲望」と資本主義…………… 佐伯啓思
学びを広げる 経済との関わりから社会的課題について考える
参考 ESG入門…………… 夫馬賢治 監修

5 多様性と
向き合う



スポーツとナシヨナリズム…………… 阿部潔
「文化が違う」とは何を意味するのか？…………… 岡真理
民族という虚構…………… 小坂井敏晶
学びを広げる 多文化共生社会について考える
参考 多文化共生社会の構築に向けて——課題と展望…………… 相原次男

6 生命を
見つめ直す



病と科学…………… 柳澤桂子
動的平衡…………… 福岡伸一
ゲノム編集とiPS細胞…………… 山中伸弥
学びを広げる 生命倫理について考える
参考 iPS細胞と生命倫理…………… 野家啓一

7 リスク社会を
生きる



コンコルドの誤り…………… 長谷川真理子
リスク社会論…………… 大澤真幸
戦争の〈不可能性〉…………… 西谷修
学びを広げる 「リスク」について考える
参考 レジリエンスとは何か…………… 枝廣淳子

8 近代・
現代社会を
問い直す



コンクリートの時代…………… 隈研吾
現代日本の開化…………… 夏目漱石
都市空間のなかの文学——『舞姫』太田豊太郎のまなざし…………… 前田愛
学びを広げる 現代社会の問題について考える
参考 「里」という思想…………… 内山節
森鷗外『舞姫』

◇ビッグデータと「私」の問題
ビッグデータの分析のメカニズムを提示し、個人の例外性がそぎ落とされるという倫理的な欠陥を指摘した評論。

◇言葉への挑戦
ウイトゲンシュタインの言語ゲームの考え方をもちに、言語を使ったコミュニケーションが何を意味するかを考える。情報工学者による言語論。

◇赤ちゃんはAIより天才だ
人間とAIの学習の仕方、特に赤ちゃんには「推論する力」があることに着目し、言葉の学習のプロセスを論じた評論。

◇利他とは何か
文化・文明の進歩により、「他者を救うため」という利他的な行為は時として空転する。現代という多様性の時代において「利他」の再定義を試みた文化論。

◇貨幣共同体
商品を売買する行為を通して、なぜ貨幣が貨幣として成立するのかを分析する。ハイパーインフレーション下を例に貨幣が貨幣であることの「神秘」について説く。

◇民族という虚構
国家や民族といった共同体が成立・維持されるのはなぜか。民族が同一性を保つという感覚について説く。

◇戦争の〈不可能性〉
核兵器の登場以降も人類は戦争の論理から抜け出せない。世界大戦がもたらした変容に向き合うべきと訴える。

◇都市空間のなかの文学
小説『舞姫』で用いられた遠近法の描写をもとに、太田豊太郎の自我の構造を分析した文学評論。

資料編
現代社会を読み解くために
1 近代・現代社会
2 環境問題
3 言語
4 グローバリゼーション
5 生命・身体・科学
6 メディア・情報
7 芸術・文化
8 心理・認知
表現の技法
1 調査・情報収集
2 引用
3 要約
4 比較
5 接続
6 推敲
論文・レポートの書き方